

キャラクター名
飯島 正義 (めしじま まさよし)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	ヴィジランテ	カヴァー	無し
	ウロボロス					
オプション			年齢	20歳	性別	男
覚醒	償い	衝動	憎悪	初期侵食率	39%	
出自	安定した家庭	経験	大失敗	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	1	0			3	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	4		0			4	戦闘移動	13
社会	0		0	1		1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
デモンズシード	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
超血統	P	N		
"叛逆鱗"神室 真龍	P 信頼	N 不安		
"雌豹" 北見 薫	P	N		
岩神禎都	P	N		
"便利屋"エリック=ルチアーノ	P	N		
ブラック・スワンズ	P	N		
正義の心	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:Ur	2	2	メジャー			シンドローム		
効果:								
背徳の理	8	3+1	オート		自身	自動		
効果:	あなたがオーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用する。そのシーンの間、あなたが行うウロボロスのエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[Lv*2]個する。							
極限暴走	1		常時	至近	自身	自動	リミット	
効果:	《背徳の理》。あなたが取得している「あなたがオーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用する」と書かれたエフェクトは「あなたがバッドステータスの暴走を受けた際」にも使用できるようにする。このエフェクトを取得した場合、侵食率基本値を+3する。							
振動球	1	3+1	メジャー	視界		RC		
効果:	「攻撃力: +Lv」の射撃攻撃を行う。この攻撃では、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。							
怨念の呪石	2		セットアップ					
効果:	セットアッププロセスに使用する。あなたはバッドステータスの《暴走》を受ける。この《暴走》を受けている間、あなたが行う攻撃のダメージに+20する。この効果を使用したセットアッププロセスの終了時に、あなたの侵食率が3点上昇する。1シーンに1回まで使用できる。							
影絵芝居	★				シーン(選択)			
効果:	任意の形や大きさの影を作成し動かす							
シャドウダイバー	★	2		至近	単体			
効果:	影に触れる事で相手の感情を読み取る。対象が感情を隠している場合、あなたの《RC》と対象の《意志》で対決を行うこと。あくまでもわかるのは感情だけであり、思考の内容までは読み取れない。							
闇夜の烏	★							
効果:	影の中を移動できる。影が消滅すると効果は消える。戦闘中は使用できない。GMは《知覚》による判定を行わせてもよい。							
マーキング	★							
効果:	非オーヴァードには認識不能なマーキングを残す事が出来る。							
効果:								
効果:								
効果:								

バッドシティに住む。ウロボロスのピュアブリードで、影をクナイ状に変えて撃ち出す戦闘方法を得意とする。元は平凡な家庭に生まれた一般人で、正しい人間に育つようにと願いを込めて「正義」と名付けられた。実際に彼は正義感の強い少年に育ち、弱者を救う正義の味方に憧れるようになった。しかし現代の日本において「正義の味方」とは時代錯誤でしかなく、個人にできる人助けにも限度がある事を悟ってしまう。やがて彼は同年代の若者と同じように無難に学校を卒業し無難に就職し、無難な生きていく道を選択した。高校に入ってから貧しい家計を助ける為に、学業の傍らアルバイトをこなし、他にも知り合いの紹介で家庭教師をして金銭を稼いでいた。勉強と仕事の両立は無理があったが、睡眠時間を削る事で何とかこまかしていた。

しかし、そんな生活を続けていて体がもつ苦も無く、結果的に努力家としての性格が彼の運命を決定づけた。ある時バイクでの移動中、疲れからかハンドル操作を誤り幼稚園の列に衝突。大勢の子供を死傷させてしまう。(この時彼自身も死亡してオーヴァードに覚醒した可能性もある)未成年であったが故に大きな咎は受けなかったものの、子供を死なせてしまったという事実はあまりに重く。若い頃に目指した「正義の味方」と最も懸け離れた立場となってしまう。罪の意識は今も消えず、正義感故に自分自身を許せなくなっている。バッドシティを護る自警団をやっているのは彼なりの罪滅ぼしであり、もはや幻となった「正義の味方」としての姿を追って終わりの見えない戦いに身を投じている。

彼の動力源は若い頃から変わらぬ正義感と自らが犯した罪に対する贖罪。そして自分を含む悪に対する怒りである。故に彼は自分の命など全く惜みず、巨悪を倒す事、誰かを守る事を迷わない。その戦いぶりは他者から危なっかしく思われる事もあるが、他人の制止はあまり聞き入れようとしない。平然と悪事に手を染める人間を何よりも嫌い、そういった人間と戦う際は憎しみを露にする。一方で更生の余地がある人間に対しては少なからず情けと温かい言葉を掛ける事もある。清廉潔白な人間には並々ならぬ信頼を示し、性格も基本は真面目。子供に対しては過去の出来事もあって距離を取りたがるが、遠くから見守ろうとする程度の優